

学習シラバス 家庭科

科目名	単位数	学科・学年・類型
家庭基礎	2	普通科・第1学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>1 人の一生と家族、家庭及び福祉、衣食住・消費生活に関する基礎的な知識と技術を習得し、男女が協力してよりよく生きる能力を育てます。</p> <p>2 自身の生活や地域の生活に関心を持ち、生活課題を見だし、主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践の態度を育てます。</p>
使用教科書・副教材等	<p>新家庭基礎 パートナーシップでつくる未来 家庭科ノート・調理実習ノート・生活学 Navi 資料+成分表</p>

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

学期	学習内容	月	学習のねらい	考查範囲
1 学 期	家庭科を学ぶにあたって 第1編 人とかかわって生きる	4	家庭基礎を学習するにあたって、学習の意義や内容、ノートやレポートの記述方法、評価について確認します。 学校家庭クラブ活動、ホームプロジェクトについて理解し、1年間の見通しを立てます。	期 末 考 査
	第1章 自分らしい生き方と家族	5	家族に関する社会問題についての理解を深め、一生を見ずえた家族や家庭生活と社会での自分の在り方について考えます。	
	第2章 子どもとかかわる	6	乳幼児の生活を理解し、親の役割と子育て支援について学び、子どもを育てる責任について考えます。	
	第3章 高齢者とかかわる	7	高齢者を支える社会のしくみについて考えます。 高齢化社会の現状とその課題について理解します。	
	第4章 社会とかかわる ホームプロジェクト		家庭や地域において、共に助け合いながら生きることについて考えます。 ホームプロジェクト学習の計画を立て、実践します。	
期	<p>【課題・提出物等】</p> <p>1 家庭科ノートに意見や感想を記入し提出します。 2 ミニホームプロジェクトを実施し、レポートにまとめ提出します。 3 ホームプロジェクトを計画し、夏季休業中に実践します。</p> <p>【1学期の評価方法】</p> <p>1 家庭や地域で生じる諸問題について関心を持ち、解決しようとしているか評価します。 2 班別学習や授業において適切な判断、よりよい表現ができていないか評価します。 3 家族・家庭・福祉に関する分野で習得すべき知識が身に付いているか評価します。</p>			
2 学 期	ホームプロジェクトの発表	8	自分の生活を見直し、自分自身の生活能力を高めることにつながるように実践したホームプロジェクトの発表・相互評価を行います。	期 末 考 査
	第2編 生活をつくる 第2章 衣生活をつくる	9	購入から活用、手入れ、保管、再利用、廃棄までを考えた被服計画の必要性について理解します。 衣生活の面からできる、環境に負荷を与えない被服管理について考え実践します。	
	縫製実習	10	作品を製作することにより、基礎的縫製技術を高めます。	
	第1章 食生活をつくる	11	食事摂取基準と食品群別摂取量のめやすの基礎的な知識を理解します。 食品の栄養的特徴と調理上の性質について理解し、献立作成に活かすとともに、調理法の要点と調理の基礎技術を身に付けます。	
期	調理実習（和風献立）	12	食生活の面からできる、環境に負荷を与えない行動について考え、実習を通して実践します。	
	<p>【課題・提出物等】</p> <p>1 ホームプロジェクトを提出し、各家庭で問題解決学習ができていないか確認します。 2 家庭科ノートを提出し、授業中に行った班別活動の内容等を確認します。 3 縫製実習で制作した作品を提出します。 4 調理実習ノートに食品群別摂取量のめやすのグラフを完成させた上、調理実習での反省や、実習を通して学んだことを記録して提出します。</p>			

	<p>【2学期の評価方法】</p> <p>1 ホームプロジェクトでは、自ら家庭での問題について関心を持ち、解決するための適切な思考力・判断力がどうか評価します。また、情報を収集、整理、分類をした上でまとめ、発表ができていないか評価します。</p> <p>2 授業や班別実習に積極的に参加しているか評価します。</p> <p>3 班別学習に参加して考察、判断したことをまとめ、発表ができていないか評価します。</p> <p>4 衣生活・食生活に関する基礎的・基本的な知識や重要な概念が身に付いたか評価します。</p>			
3 学 期	調理実習（中華献立）	1	安全で衛生的な食物管理方法、調理方法について学び、実践します。	学 年 末 考 査
	調理実習（洋風献立） 第3章 住生活をつくる	2	一生を見通してライフステージやライフスタイルに応じた住居計画や住居選択の方法について考えます。 快適で安全な住まいになるための各家庭での工夫、国が定めている法令などを理解します。	
	第3編 消費者として自立する 第1章 消費行動を考える 第2章 経済的に自立する 学習のまとめ	3	家族を創設するにあたり、一生を見すえた家計の運営が必要になることを理解します。 より良い消費行動によって環境負荷を低減させ、進んで地球環境保全に貢献できるライフスタイルを実践できるようにします。 1年間を振り返り、学習の目的が達成されたか確認します。	
	<p>【課題・提出物等】</p> <p>1 家庭科ノートを提出し、授業中に行った班別活動の内容や個人で学習したことを確認します。</p> <p>2 冬休みの課題を提出します。</p>			
	<p>【3学期の評価方法】</p> <p>1 冬休みの課題について、意欲的に行えているか評価します。</p> <p>2 授業や班別実習に積極的に参加しているか評価します。</p> <p>3 授業や班別学習に参加して考察、判断したことをまとめ、表現ができていないか評価します。生活で生じる課題を見だし、その解決を目指して思考を深め適切に判断しているか評価します。</p> <p>4 住生活・消費生活に関する基本的な知識や重要な概念が身に付いたか評価します。</p>			
	<p>【年間の学習状況の評価方法】</p> <p>1 学期～3学期の評価成績を総合評価し、年間の学習成績とします。</p>			
	確かな学力を身に付けるためのアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> ・ 班別学習を通して意見を聞いたり、自分の意見を筋道立てて発表したりしてください。少子高齢社会において、他者に対する理解にもつながります。 ・ 「食分野」「被服分野」では実習を通して、「消費」や「環境」の分野も併行して学習します。学習したことを授業だけではなく、学校や各家庭、地域でも実践してみましょう。 ・ 学校や地域で「学校家庭クラブ活動」に進んで参加しましょう。 		
	授業を受けるに当たって守ってほしい事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教材、教具は忘れずに準備してください。 ・ 提出物は期日を守り、丁寧に作成、記入して提出してください。 ・ 調べ学習、実践活動などの宿題は必ず家庭で行ってください。 ・ 授業は、教科書の順番で進むのではなく、各単元を融合させて進みます。 		

(2) 評価の観点、内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人の一生と家族・福祉、衣食住、消費生活などについて関心を持ち意欲的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業、実習への参加の仕方や態度 ・ 家庭科ノート、調理実習ノート、レポートへの記述内容 ・ 班活動 ・ 家庭クラブ活動への参加
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人の一生と家族・福祉、衣食住、消費生活などについて見直し、課題解決を目指して思考を深め、適切に判断し表現できる能力を身に付けているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭科ノート、調理実習ノート、レポートへの記述内容 ・ 発表の内容や仕方
技 能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人の一生と家族・福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な技術を身に付け実習ができていないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実習の実技・作品 ・ レポートの作図 ・ 家庭クラブ活動への参加 ・ ホームプロジェクト発表
知 識 ・ 理 解	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人の一生と家族・福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識を身に付けているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期考査 ・ 発表の内容や仕方